

平成 28 年度事業報告書

一般社団法人 日本聴導犬推進協会

事業期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

事業実施拠点：埼玉県ふじみ野市亀久保 2201

役員：理事 9 名 監事 1 名 理事会開催：4 回開催 総会：2 回開催

事業担当：職員 5 名 研修生 2 名（10 月～）

一般社団法人として事業を開始してから 2 年目が終了した。聴導犬育成事業に関しては、次年度認定試験に向けて 2 頭の候補犬が訓練の終盤を迎え、順調に代替えと新規のユーザーに渡す準備が整っている。普及活動に関しては、事業内容の見直しを行ったことにより、活動の幅が広がると共に、支援につながる活動が増えてきている。また、マスコミなどに上げられる機会が増えたことから、継続支援や企業支援も増えてきている。事業年度を重ねるごとに、聴導犬の認知度を上げるための活動や支援に繋がっていることを感じられるようになってきた。

1. 候補犬の導入及び育成に関する事業

1. 候補犬の育成

候補犬育成等数 6 頭（内：合同訓練前 2 頭・候補犬 4 頭）

合同訓練前の候補犬に対し、ユーザー宅での訓練を実施。来年度の合同訓練に向けて、訓練基準を満たす内容の訓練を実施できた。候補犬に関しては、東日本盲導犬協会から導入した成犬 2 頭を、適正評価しながら訓練を実施。犬の状況確認を行うと共に、訓練適性や今後行うべき訓練内容に関して情報を収集することができた。今後も、東日本盲導犬協会からの導入に関しては、積極的に進められると考えられる。

2. 候補犬の導入

子犬の減少と質の低下に悩まされた 1 年であった。行政の子犬の数の減少が著しく、在籍していたとしても候補犬として適性のない犬であると判断される状態であった。現在提携中の都道府県以外で確保できるように動いているが、遠方であることとセンターの管理状況が不十分であることから、積極的に導入するに至らないケースが多かった。

子犬の減少を鑑み、東日本盲導犬協会と提携し、盲導犬のキャリアチェンジの受入れを試験的に実施し、2 頭の候補犬を導入した。子犬に関しては、群馬県動物愛護センターから 2 頭の候補犬を何とか導入することができた。

3. 希望者相談・希望者対応

新規希望者相談 2 名・昨年度からの相談継続 1 名・代替え希望 1 名

新規希望者 2 名は、資料の送付及び初期の連絡段階で終了。相談の継続 1 名に関しては、生活状況の安定が図れないため、次年度に持ち越し。代替え希望者 1 名に関しては、来年度の事業で行う予定となっている。

2. 聴導犬の普及・啓発に関する事業

1. 聴導犬の講演及びデモンストレーション

イベント参加及び講演依頼等が年間 75 回。小学校への学習協力 5 件。団体研修の受入れ 5 件。

2. インターネット系普及活動

SNS を使用した普及活動を積極的に行い、Facebook の「いいね」数が 20,871 に増加。寄付の獲得等にある一定の効果が得られている。

3. マスコミ取材

新聞 5 社（朝日新聞・読売新聞・埼玉新聞・東京新聞）・TV4 社（テレビ朝日・日本テレビ）・企業紙 1 社・大学 1 件となった。大半の取材対象はユーザーに対してであり、ユーザーを通しての聴導犬普及には効果が得られたと考えられる。

3. 聴導犬の貸与・再訓練に関する事業

1. 聴導犬の貸与

継続貸与 5 頭。（東京 3 頭・埼玉 1 頭・大阪 1 頭）

2. ユーザーフォロー

引退時期の相談及び代替え聴導犬の相談が 1 件。随時、各ユーザーに対し生活状況の確認及び聴導動作の確認を実施。イベントに参加してもらいながら、社会参加状況の確認を行う。

4. 一般への引退犬・キャリアチェンジ譲渡事業

候補犬からの譲渡 1 件。PR 犬譲渡 1 件。譲渡指導 1 件。譲渡後指導 1 件。

5. 聴導犬訓練士の育成及び認定に関する事業

1. 研修生事業

本年度は、研修生の実施をしていなかったが、業務拡大と事業整備のため 10 月より臨時の研修生を 2 名獲得し、研修を実施した。研修終了後、1 名は広報活動の社員として、1 名は事務局のパートとして次年度からの採用予定となった。

次年度事業として、研修生の募集を行ったが、適合者が居なかった。

2. 高校の授業協力

1 校に対し、カリキュラムを組み聴導犬の訓練に関する授業指導と手話に関する指導を実施。文化祭での発表でデモンストレーションを行う。手話に関しては、手話検定を受験し、受講者の生徒が数名を除き合格した。

6. その他

1. 寄付獲得事業

1. 街頭募金

東武鉄道との提携で、川越駅改札口前で街頭募金を 9 回実施。

2. 募金箱の設置

113 か所に設置。平成 28 年度 86 か所から回収を行う。

3. 企業提携

寄付システム及び募金システムを導入している企業・団体と提携し、寄付金を獲得した。

4. 企業CSR

3社CSR活動として聴導犬の普及活動への協力及び寄付。企業によっては、聴導犬育成のために必要な物品の支援あり。

5. 寄付付き自動販売機

コカ・コーラ、サントリー、西武商事の3社が展開し、全国10か所設置。

6. 物品寄付

使用済み切手・未使用切手・書損じはがき・犬用タオル・金券・テレホンカード・犬用品・ドッグフード等の寄付品を受取った。使用済み切手や金券等は、オークションに出品して現金化。テレホンカードは、NTTに送付して通信費の一部として活用した。使用済み切手 36,000 円 テレカ・はがき・切手 253,965 円 寄付品（タオル・フード・ペットシート等）70 件

2. 物品販売事業

各種イベント会場及びインターネットサイトによるオリジナルグッズの販売を実施した。